



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 尼ちようがっこう  
〒153-0053 目黒区五本木2-20-1  
でんわ: 03-3710-6031

号外 295

発行日  
2026年  
4月5日

今週のお祈り 復活日特禱 すべての命と力の源である神よ、あなたはみ子の力ある復活により、罪と死の古い支配の力に打ち勝ち、み子にあって万物を新しくしてくださいました。どうか、わたしたちが罪に死に、イエス・キリストにあってあなたに生き、栄光のうちにみ子とともに支配することができるようにしてください。父と聖霊とともに、讚美と誉れ、栄光と力が、今もまた永遠にみ子にありますように。アーメン

今週の聖書 ヨハネによる福音書 20:1-18

1 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは、墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。

2 そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って、彼らに告げた。「誰かが主を墓から取り去りました。どこに置いたのか、分

かりません。」3 そこで、ペトロともう一人の弟子は外に出て、墓へ行った。4 二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子のほうが、

ペトロより速く走って、先に墓に着いた。5 身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあるのを見たが、中には入らなかつた。6

続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。7 イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ

所には置いてなく、離れた所に丸めてあつた。8 それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も中に入つて来て、見て、信じた。9

イエスが死者の中から必ず復活されることを記した聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかつたのである。10 それから、この弟子

たちは家に帰つて行った。11 マリアは墓の外に立つて泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中をのぞくと、12 イエスの遺体の置

いてあつた所に、白い衣を着た二人の天使が、一人は頭の方に、一人は足の方に座つて見えた。13 天使たちが、「女よ、な

ぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「誰かが私の主を取り去りました。どこに置いたのか、分かりません。」14 こう言っ

て後ろを振り向くと、イエスの立つておられるのを見えた。しかし、

それがイエスだと分からなかつた。15 イエスは言われているのか。誰を捜しているのか。」マリアは、園の番人だと思つて言った。「あなたがあの方を運び去つたのでしたら、どこに置いたのか、どうぞ、おっしゃってください。私が、あの方を引き取ります。」16 イエスが、「マリア」

と言われると、彼女は振り向いて、へブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。17

イエスは言われた。「私に触れてはいけない。まだ父のもとへ上つてい

ないのだから。私のきようだいたちのところへ行つて、こう言いな

さい。『私の父であり、あなたがたの父である方、また、私の神であり、あ

なたがたの神である方のもとに私は上る』と。」

18 マグダラのマリアは弟子たちのところに行つて、「私は主を見ました」と告げ、また、主から言

われたことを伝えた。

聖書からのメッセージ

司祭 橋本克也

イースターは、教会の誕生日と言われるお祝いの日です。十字架の上で死んだイエスさまのお墓は空になっていましたが、お弟子たちは復活されたイエスさまにいろいろなしかたでお会いしました。主の復活は、私たちもいつも罪に死んで新しくされ、永遠の命に生かされている喜びなのです。

